

令和2年度 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 3年 3月 31日

事業所名 児童発達支援センター こどもの森 保護者等数（児童数）20（20） 回答数15 割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者の方からのご意見、 ご意見を踏まえた対応について
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2		1	→今年度はコロナの影響で、クラス単位での活動が主になり、活動場所も限られてしまった為、十分な場所の確保ができていないこともありましたが、今後も感染予防に努めながら、子ども達が安全に過ごせるよう工夫していきたいと思います。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2		1	・言語聴覚士を入れてほしい →必要性はあると思います。人材確保が難しい状態ではありますが、ご意見をふまえて検討し今後も働きかけていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1		1	→各部屋（教室や遊戯室）や各児の下駄箱、収納棚、椅子や道具箱などシンボルマークや名前を貼って示しています。絵やマークを使用し子ども達が視覚的にも分かる様工夫しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14				1
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	15				→お子様やご家族の思いに沿った計画書となるよう努めています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切な選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	2			→提供すべき支援について項目別に記載していますが、分かり易く説明を行う部分については、不十分なところがあります。ご家族に分かり易く今後も具体的な内容について、お伝えできるよう努めていきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	1		1	
	⑧ 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	13	1		2	複数回答あり →毎日の活動は、各担任を中心に決めています。活動の内容については、OTを含め関わったスタッフで振り返り、子ども達が楽しく活動に取り組み、苦手な事にも取り組めるよう工夫しています。

保護者への説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	2	4	回答なし1 →現在、約半数の園児が保育所や認定こども園、幼稚園等と併用して利用しています。昨年度、園の行事等を利用して通園児以外の子ども達との交流の場が持てるよう検討していきましたが、コロナの影響で実施できませんでした。今後は内容を再度検討していきながら、交流の機会が持てるよう取り組んでいきたいと思ひます。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				→入園前の担当者会議や入園式で説明を行っていますが、今後も分かりづらいところなどいつでもご相談頂けるように努めていきます。内容に変更があった場合は、お便りでお知らせしていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15				→計画書は、毎年面談時に説明していましたが、今年度はコロナの影響で直接お会いしての説明ができませんでした。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	13		2	1	→ご相談に応じてご家庭での支援の方法をお伝えしています。今後も更に充実した取り組みができるよう検討していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				・子どもの状況を口頭や連絡帳で分かり易く伝えてもらっている →ご家族と直接お話しをしたり連絡帳でのやり取りを行っています。日頃のお子様の様子を把握できるよう今後も努めています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	2			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4	4	3	・コロナで仕方がないですが、他のお友達の父母さんと交流したいです ・コロナ禍の為、無理な状況 →昨年度は、保育参観後に懇談会を行いました。今年度はコロナの影響で実施できませんでした。懇談会で保護者様同士の交流等毎年ご意見頂いていますので、今後は実施できるよう内容を検討していきたく思ひます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1			→常時、ご相談に対応できるよう努めさせていただきます。また、気軽に相談して頂ける関係づくりに心がけております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				→連絡帳などで、日頃のお子様の様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を書いて頂くなどしてやりとりを行っています。
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1			→毎月園便りを配布し、その月の行事についてやクラスでの取り組みなどを掲載しています。自己評価については、毎年ホームページに公表していません。	

	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15			→契約時に、個人情報の取り扱いについての説明と同意書の記入をして頂いています。書類等については、事業所内の鍵付のカルテ庫に収納し取扱いには十分注意しています。災害時には緊急連絡先ファイルを事業所外に持ち出しますが、原本は保管しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1		→昨年は、懇談会の際に緊急時（災害について）の説明や毎月実施している訓練についての説明を行いました。今年度は、懇談会が開催できませんでした。今後は、ご家族の方への発信方法も工夫していけるよう検討していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15			→毎月1回災害訓練を実施しています。（火災・地震・風水害・防犯・送迎時など）災害時や緊急時に子ども達が安全に避難できるよう、今後もいろんな場面を想定した訓練ができるよう努めていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1		→子ども達が安心して楽しく通園できるよう、今後もご家庭での様子を伺いながら取り組んでいきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	15			・すごく良い支援をしてもらっています

（注釈）

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は事業所の日々の支援の中で、一定の目標を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*3 「ペアレントトレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

（保護者等の皆様へ）

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子様の保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

（その他ご意見などありましたら、下記にご記入お願い致します）

- ・個別などを柔軟に対応してもらって助かっています
 - ・非常に手厚く、行き届いた対応をして頂きありがたい限りです
 - ・園に通い、さまざまな課題を行っているようですが、その結果本人がどう変化しているのかが分かりにくいのでひとつひとつの課題に対して、もう少し詳しい内容の説明や経過の報告（どういう状況でどんな力が身についてきている等）を教えてもらえるとありがたいです
- お子様の日頃の様子は、できるだけ連絡帳を通してお伝えするよう心掛けているのですが、課題や療育の目標について、十分な説明ができにくい状況がありました。これまでは、面談を通して発達の状態や行動の特性についてお伝えしていましたが、今年度はコロナの影響もありご家族の方と直接お会いしお話しすることができませんでした。次年度は、十分な感染対策を行いながら、面談の機会を設けられるよう努めていきたいと思っております。